

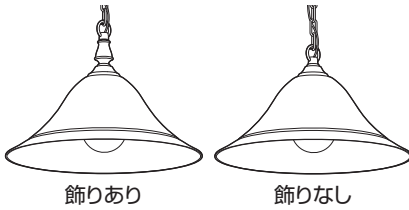
取扱説明書

住宅用照明器具 (ペンダント)

保管用

施工説明付き

保証書別添付



品番 **LGB15095** (飾りあり / 金色つや消し)

LGB15096 (飾りなし / 金色古味)

LGB15097 (飾りなし / ペールゴールド)

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

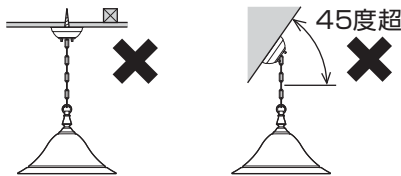
警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど)
- ・45度を超える傾斜した場所



禁止

- コードハンガーを使用する場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。傾斜天井にコードハンガーを取り付ける場合はフック開口部が上を向くように取り付けてください。

- ・凹凸のある場所 (例: 下図)



◎この器具は天井面吊り下げ専用です。

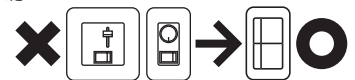
■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■配線器具

●次のような配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・シーリングハンガーが取り付けられたもの
- ・がたついたり、破損しているもの

- ・斜めに取り付けられたもの



禁止

- ・電源端子露出タイプ

- ・ケースウェイに取り付けられたもの

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(交換には資格が必要です。)

警告

■その他



必ず守る

- 取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下によるけがのおそれがあります。
- ランプは器具表示のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。
- ホルダーナットは確実に締め付ける
締め付けが不完全な場合、セード落下によるけがのおそれがあります。
- ◎器具の傾き調整時、ホルダーナットは取り外さないでください。ホルダーナットを完全に外すとセード落下によるけがのおそれがあります。
調整後はホルダーナットを確実に締め付けてください。



必ず守る

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。
- コードハンガーは確実に取り付け
落下してけがのおそれがあります。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき自主点検してください。
- ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。



禁止

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- 多灯設置する場合、器具を揺らしたりしない
器具の揺れなどでセードが接触し、落下、破損、傷などの原因となることがあります。
- 壁の近くに取り付けない
器具の揺れなどでセードが壁に接触し、落下、破損、傷などの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

施工前のご確認事項

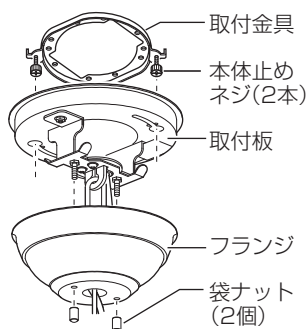
- 必ず壁スイッチを設けてください。点灯消灯させたり、ランプ交換やお手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

各部のなまえ

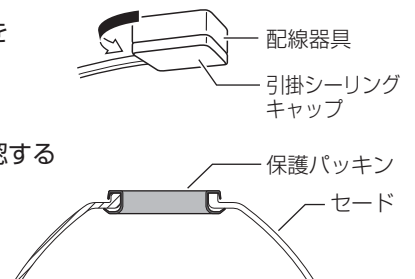
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

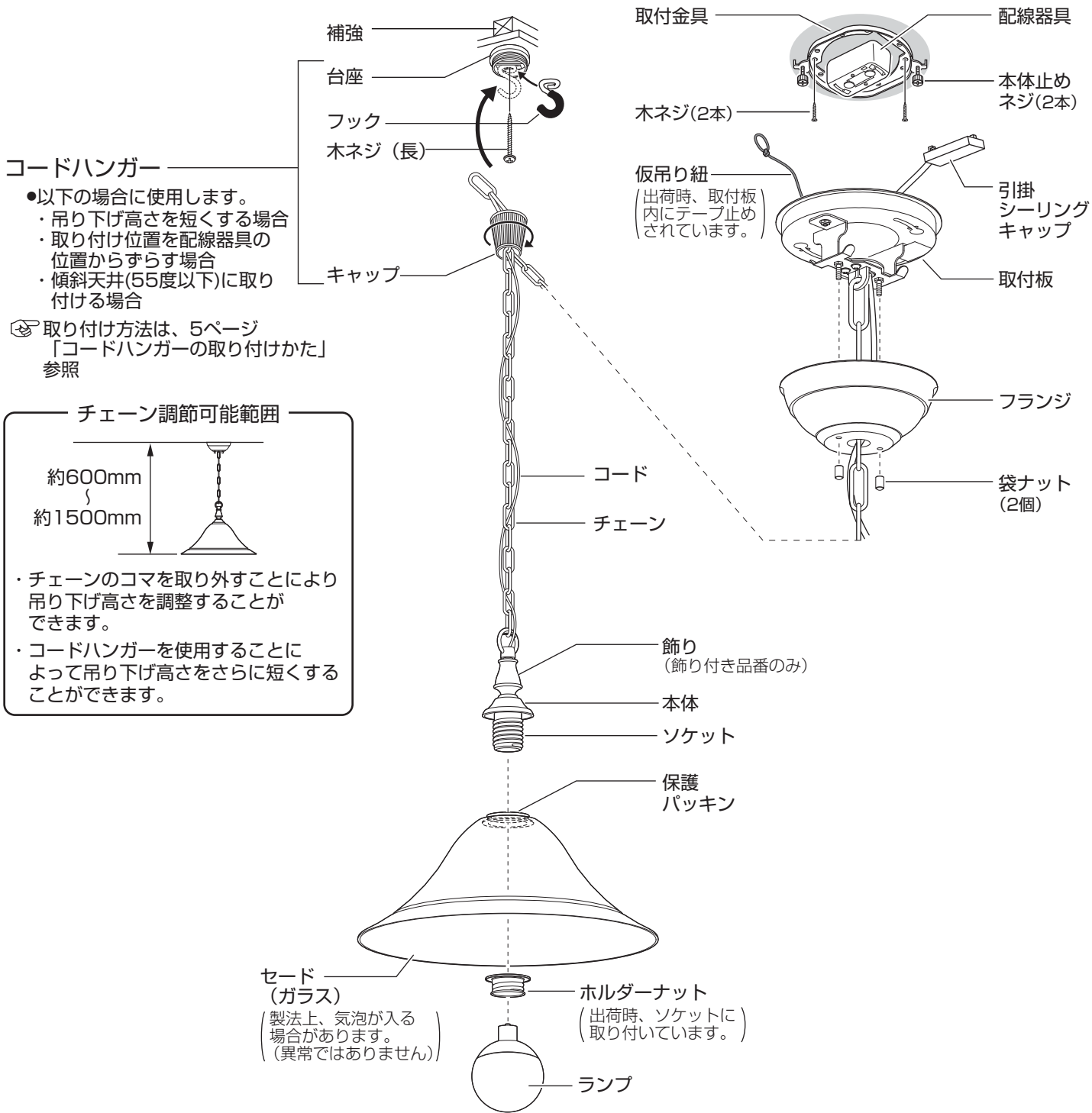
取り付け前のご準備

- ①袋ナット(2個)を取り外し、取付板からフランジを取り外す
- ②本体止めネジ(2本)をゆるめる
- ③取付金具から取付板を取り外す



- ④引掛シーリングキャップを左に回し、配線器具から取り外す
- ⑤保護パッキングがセードに取り付いていることを確認する
外れた場合は付け直してください。





付属品品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

配線器具

(角型フル引掛シーリング (1個))



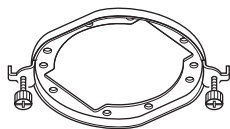
木ネジ (2本)

(引掛シーリング用)



取付金具 (1個)

本体止めネジ (2本)



木ネジ (2本)

(取付金具用)



コードハンガー

キャップ (1個)



コードハンガー用木ネジ (長) (1本)



台座 (1個)



フック (1個)



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

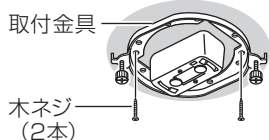
1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。下記の準備を行ってください。



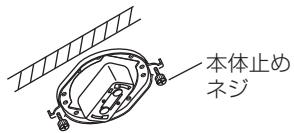
付属の取付金具の取り付けが必要です

補強材のある場所に
付属の木ネジ(2本)で
取付金具を取り付ける



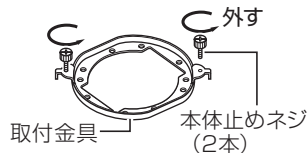
●角型引掛シーリングは取付金具のほぼ中央にくるように
取り付けてください。端部に取り付けると取付板が取り付け
できない場合があります。

傾斜天井(45度以下)の場合
本体止めネジ方向を
必ず傾斜方向に合わせる。

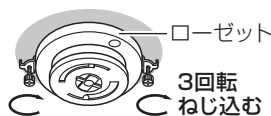


付属の本体止めネジの付け替えが必要です

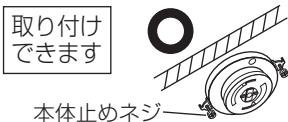
①取付金具に付いている
本体止めネジを外す
(取付金具は使用しません。)



②ローゼットに本体止めネジ
を仮止めする



傾斜天井(45度以下)の場合
本体止めネジの方向を確認する。



ローゼットの取付方向を変え
る必要があります。販売店、
工事店に依頼してください。



警告



取付金具が十分な強度で取り
付けられていることを確認する
落下によるけがのおそれか
あります。

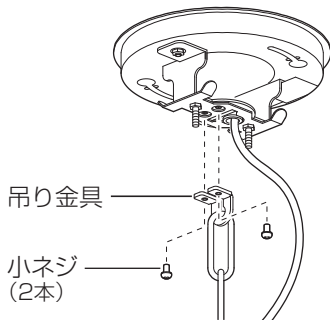
上記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。
※工事には資格が必要です。

2 チェーンの長さを調整する

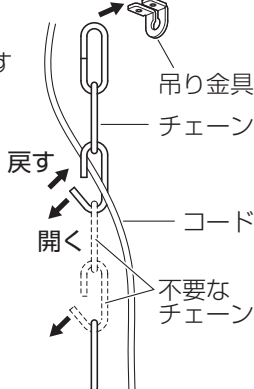
※チェーンの長さを短くする場合は、取り付ける前に以下の手順で調整してください。
チェーン長さを変更しない場合は、次の手順に進んでください。

①ドライバーで小ネジ(2本)をゆるめて
吊り金具を取り外す



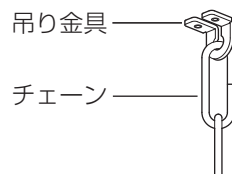
②不要なチェーンを取り外す

- 1) チェーンから吊り金具を取り外す
- 2) チェーンをペンチなどで開き、不要なチェーンを取り外す
- 3) チェーンをつなぎ合わせ、チェーンの開きをペンチなどで戻す

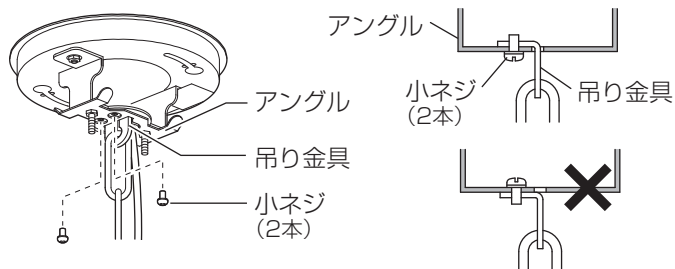


※余ったコードは手順**5**で
アングルに巻き付けて
収納してください。
収納できるコード長さは
約900mmです。
それに合わせたチェーン長さ
に設定してください。

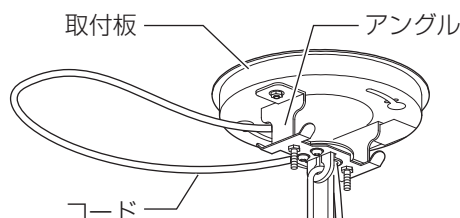
③チェーンに
吊り金具を取り付ける



④吊り金具をアングルに差し込み、
小ネジ(2本)で固定する

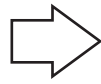


⑤アングルと取付板の間から
余ったコードを引き出す



3 補強のある天井面にコードハンガーを取り付ける

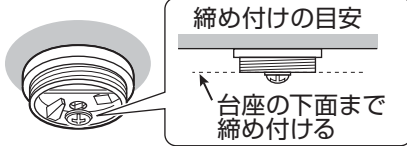
吊り下げ高さをさらに変える場合、
取り付け位置を配線器具の位置からずらす場合、
45度を超えて55度までの傾斜天井に取り付ける場合



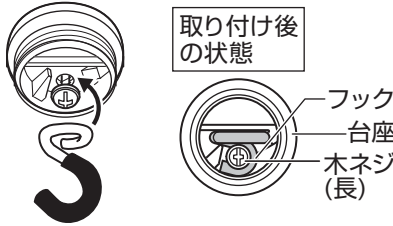
コードハンガーの取り付けが必要です。
下記内容に従って、取り付けてください。
(コードハンガーの取り付けが不要な場合は)
次の手順に進んでください。

コードハンガーの取り付けかた

- ① 付属の木ネジ(長)を台座を通して
途中まで締め付ける

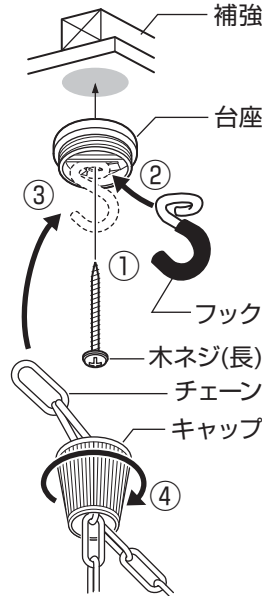


- ② フックをはさんで木ネジ(長)を
最後まで確実に締め付ける

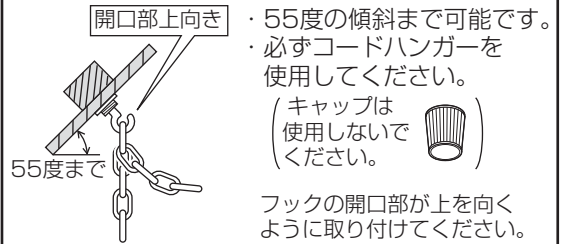


- ③ キャップにチェーンを通して
フックにチェーンを引っ掛ける
コードはフックに引っ掛けないで
ください。

- ④ キャップを最後まで
確実にねじ込む



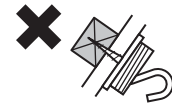
傾斜天井に取り付ける場合



警告



次のような取り付けはしない



フック開口部が
下向き

器具落下によるけがのおそれがあります。

警告

コードハンガーは
確実に取り付け
落下してけがの
必ず守る おそれがあります。

コンクリート天井の場合

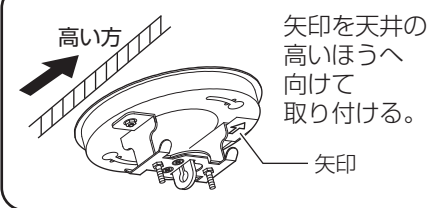
付属の木ネジは使えません。鉄筋コンクリート天井用
コードハンガーを使用してください。
【別売 LK01070K(ブラック)、LK01071K(ホワイト)】
取り付けは販売店、工事店に依頼してください。

4 取付板を取り付ける

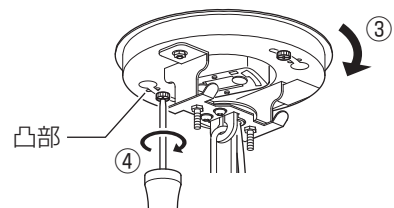
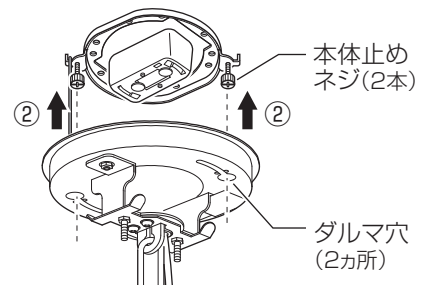
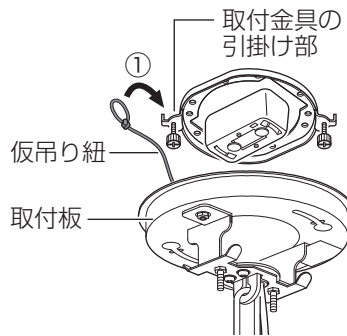
※45度までの傾斜天井に取り付けできます。

45度を超えて55度までの傾斜天井に取り付ける場合は、手順 3 に戻ってコードハンガーに器具を取り付けてください。

傾斜天井の場合



- ① 取付金具またはローゼットの引掛け部に
仮釣り紐を引掛ける
- ② 本体止めネジとダルマ穴を合わせ、
取付板を押し上げる
- ③ 本体止めネジが凸部を乗り越えるまで
取付板を右に回す
- ④ ドライバーで
本体止めネジを締め付ける



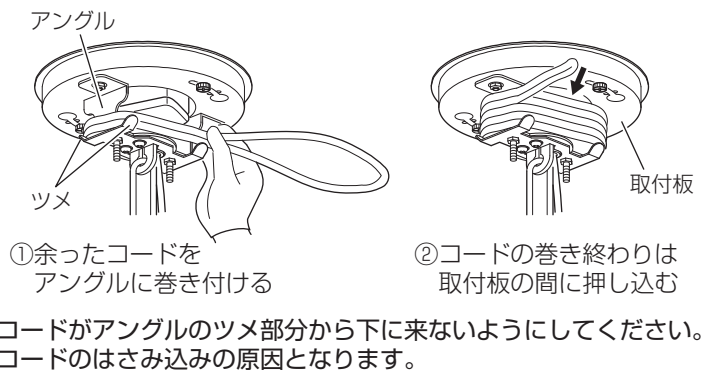
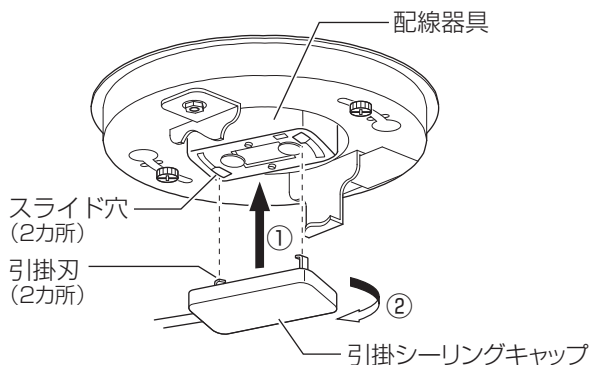
(次ページにつづく)

5 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する

- ①引掛シーリングキャップの引掛刃を配線器具のスライド穴に入れる
- ②引掛シーリングキャップを止まるまで右に回して確実に接続する

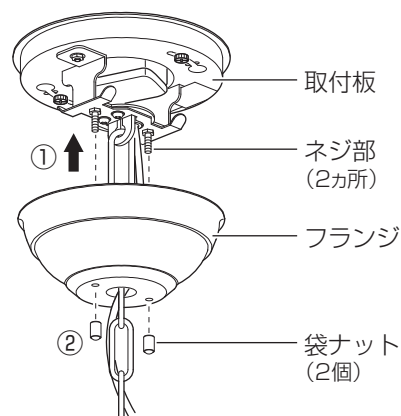
※手順 ② でチェーンの長さを調整した場合、余ったコードはアングルに巻き付けて収納してください。収納できるコード長さは約900mmです。

余ったコードの収納方法



6 フランジを取り付ける

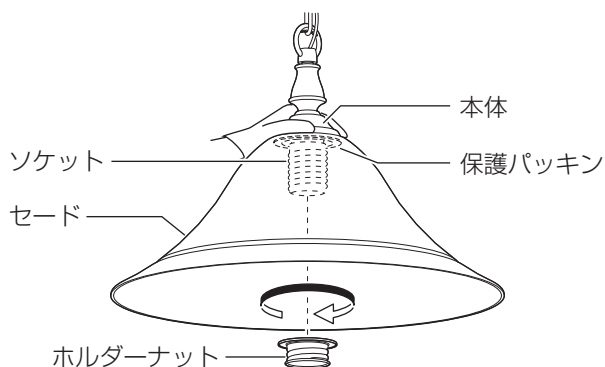
- ①取付板のネジ部にフランジのネジ穴を合わせ、フランジを押し上げる
- ②袋ナットを締め付けフランジを固定する



7 ホルダーナットでセードを取り付ける

・本体を支えながら行ってください。

	警告		必ず守る
<p>ホルダーナットは確実に締め付ける 締め付けが不完全な場合、セード落下によるけがのおそれがあります。</p>			

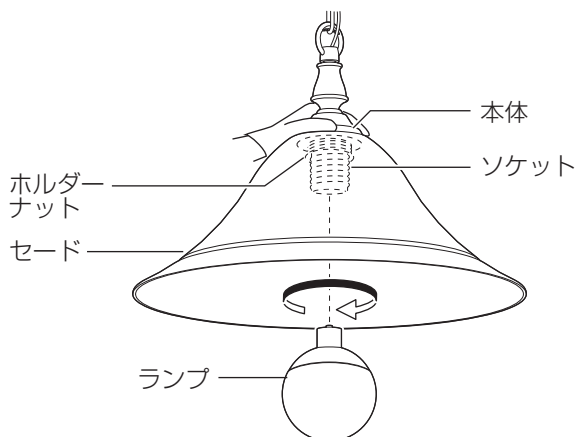


8 ソケットにランプを取り付ける

・本体を支えながら行ってください。

確認

- ランプ取付後、セードががたついていないことを確認する。
- ◎セードががたついている場合、ランプをいったん取り外し、ホルダーナットを十分に締め付けてください。



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

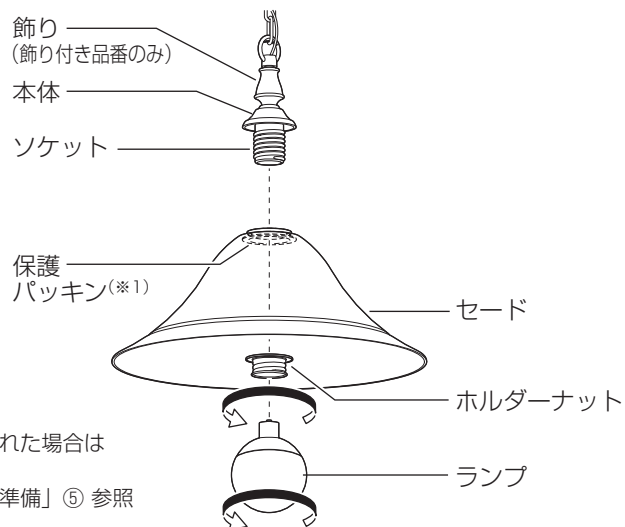
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

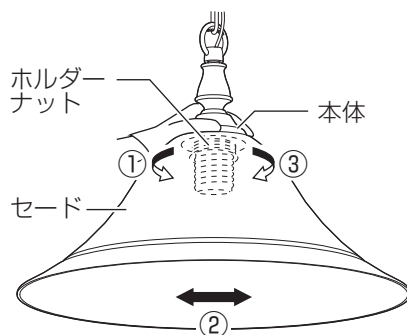
セードの外しかた

- セードはガラス製で重量物です。取り扱いにはご注意ください。
- ①ランプを取り外す
・本体を支えながら行ってください。
- ②ホルダーナットを取り外す
・本体を支えながら行ってください。
- セードの取り付けかたは
☞ 6ページ「照明器具を取り付ける」手順 **7** **8** 参照。



器具の傾き調整について

- 器具が傾く場合、セードをずらして傾きを調整してください。
- ①本体を支えながらホルダーナットを少しゆるめる。
- ②水平に取り付く位置にセードを動かす。
- ③本体を支えながらホルダーナットを十分に締め付ける。



警告



ホルダーナットは取り外さない
ホルダーナットを完全に外すとセード落下によるけがのおそれがあります。



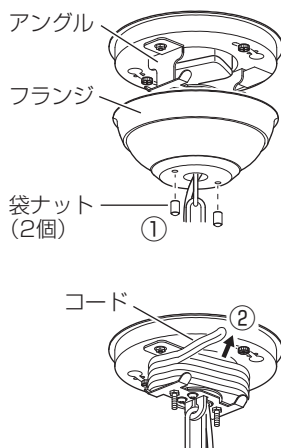
調整後、ホルダーナットは確実に締め付ける
締め付けが不完全な場合、セード落下によるけがのおそれがあります。

照明器具を取り外す

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

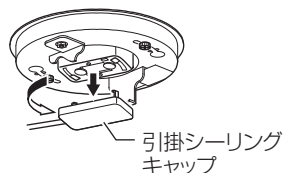
1 フランジを取り外す

- ①袋ナットを外し、フランジを取り外す。
- ②アングルにコードが巻き付けられている場合、コードを外す。



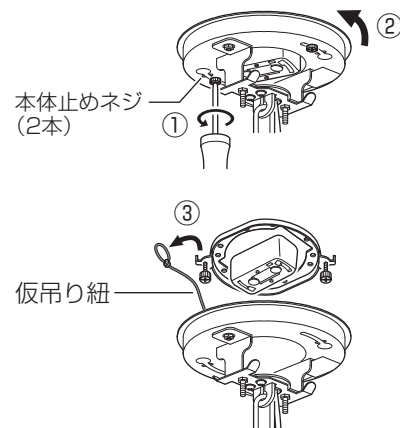
2 引掛シーリングキャップを取り外す

- ・引掛シーリングキャップを左に回す



3 取付板を取り外す

- ①ドライバーで本体止めネジをゆるめる
- ②取付板を左に回して取り外す
- ③仮吊り紐を取り外す



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

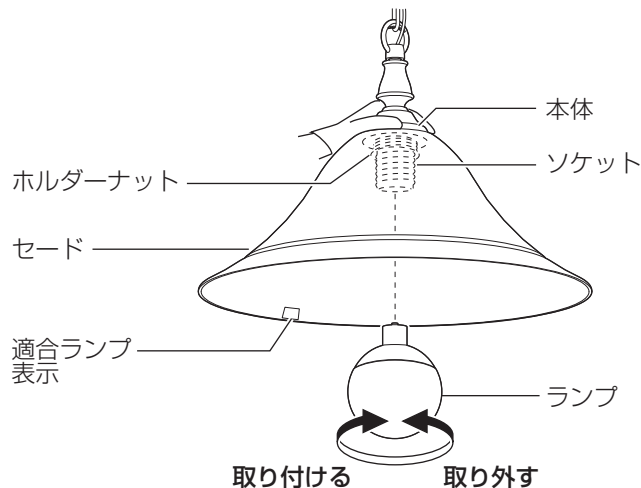
- ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- パナソニック製ランプをお求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。
- ランプの種類は器具に表示しています。白熱灯、電球形蛍光灯は使用できません。

ランプの交換方法

- ・本体を支えながら行ってください。

確認

- ランプ交換後、セードががたついていないことを確認する。
- ◎セードががたついている場合、ランプをいったん取り外し、ホルダーナットを十分に締め付けてください。



仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	10.9W	0.182A	LDG11L-G/95/W (E26) (電球色)

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 LGB15095 LGB15097
 LGB15096
- 保証書または器具のラベルをご参照いただき、品番にチェックをしてください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2018

LGB15095-T3A2

N0418-020518